

家庭・地域・学校協議会

第1回の家庭・地域・学校協議会を6月29日に行いました。出席していただいたのは、地元選出の市議員さんと自治会連合会長さん、公民館長さん、子ども会育成連合会長さん、児童館長さん、PTA会長さんの6名の皆様です。

はじめに校長がスクールプランの概要について、4月から3ヶ月間の子どもたちの様子を交えてスライドを使って説明しました。その後、委員さんから地域での子どもたちの様子や学校への願いを話していただきました。



コロナ禍の影響について話題に上がり、学校では感染対策を徹底しながら、出来ることを見いだしていることを説明しました。委員さんから、「去年は全てのことを中止せざるを得なかったが、『with コロナ』と言われている。学校では、『縦割り活動』を再開してくれている。『縦割り活動』は、社北小学校の長い伝統であり、上の学年の子が下の学年を育ててくれている。小さい子は、上の学年の子にしてもらえたことを覚えていて、大きくなっていく」と評価していただきました。

地域のジュニアリーダーズクラブでも、小学校での縦割り活動の経験が活かされているとの意見がありました。このクラブには、小学生から大学生までが入り、年上の子がリーダー役を務めて、地域のイベントや公民館の行事のお手伝いをしています。「縦割りを経験したので仲が良く、公民館の夏のイルミネーション作りに率先して取り組んでいる」と紹介していただきました。集まって何かを作るという活動が、子どもたちのやる気を高めているようです。



集団登校の様子については、「どの班もしゃべることもなく、並んで安全に気を付けながら歩いている」と皆さん話されました。元気な挨拶をする子がいる一方で、挨拶をしても声が返ってこない子もいることが、気になるのご意見もありました。委員さんが、「休日にも、ヘルメットをかぶり自転車に乗っている子が挨拶してくれるので、とてもいい気持ちになった」と紹介されたことを子どもたちに伝えながら、根気強く挨拶の大切さを説いていきたいと考えます。